

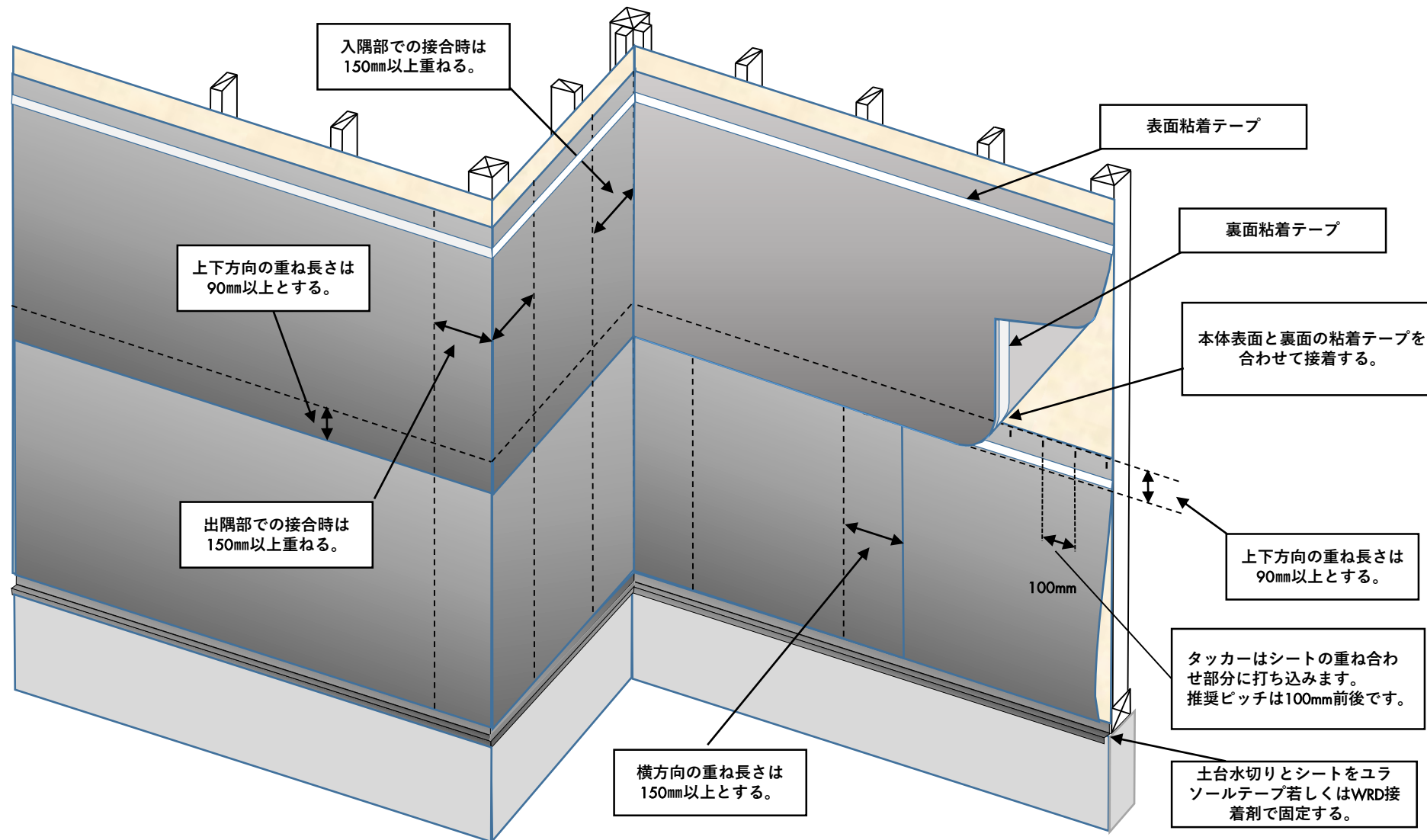
壁用透湿防水シート ウートップ トリオUV 標準施工要領



ウー トップ トリオUV 2SK 標準施工要領

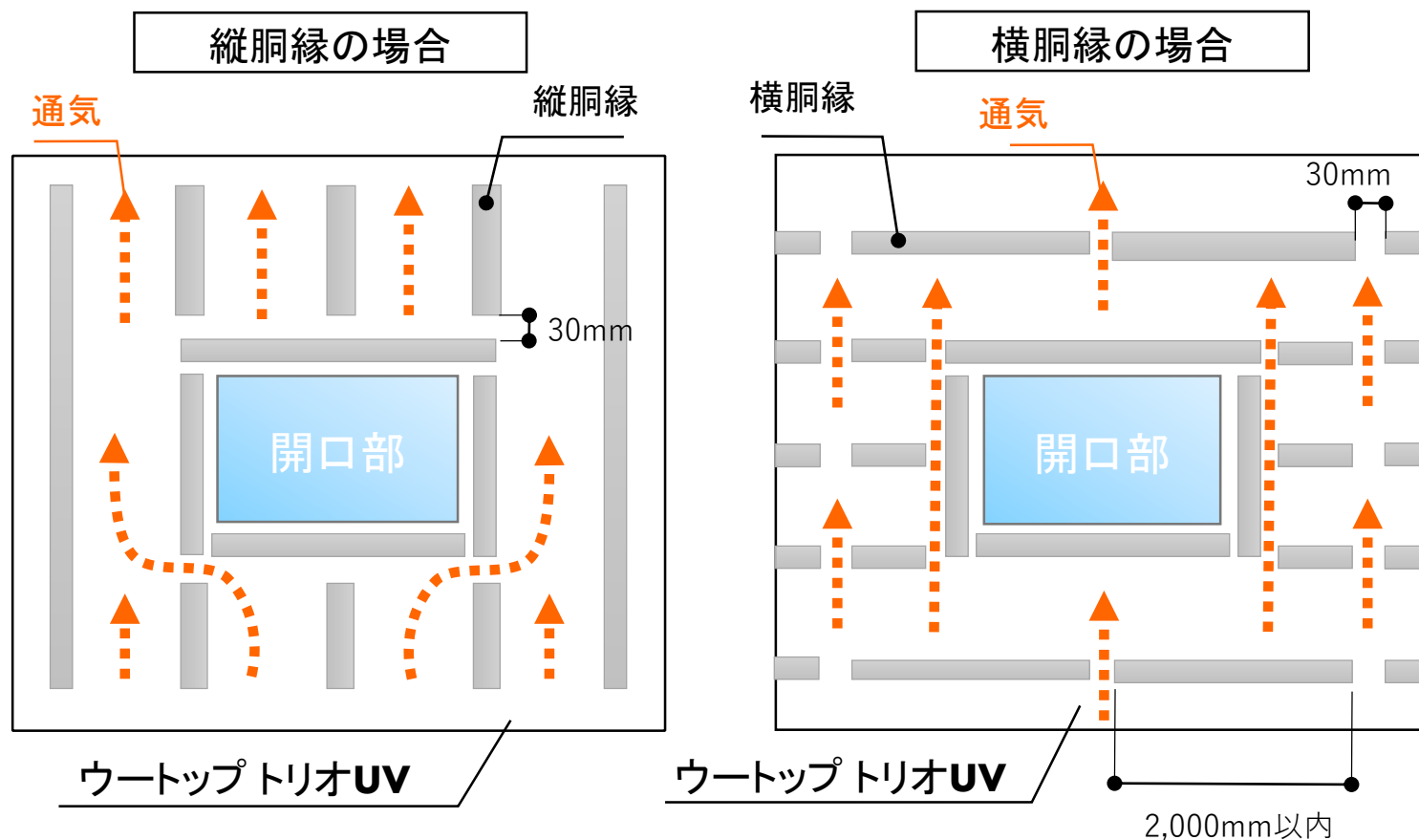
- (1) 施工時は工具として、ガンタッカーを推奨いたします。タッカー針はステンレス製を推奨いたします。
- (2) 張り方は基本的に横張りとし下から張り上げます。シート上下方向の重ね代は、90mm以上とし、横方向の重ね代は150mm以上とします。
- (3) シートは、必ず下地がある部分において重ね部をタッカーで止付けます。(タッカーのピッチ目安は100mmとします。)
- (4) 下地に面材が無い場合は左右の重なりは必ず柱、間柱がある所に設けてください。
- (5) シートはたるんだり、シワにならないように引っ張って留めてください。
- (6) 開口部建具については、使用する開口部建具メーカーの仕様に従い、取付けてください。
- (7) 土台水切り取り合い部については、雨水の侵入防止のためにウー トップ トリオUVを水切りの上にかぶせて、ユラソールテープで留めてください。
- (8) 施工用の防水テープはウー トップ シート専用「ユラソールテープ」(品番0992700050)か、「ユラソールMAXテープ」(品番0992710160)、接着剤は「WRD接着剤」(品番0893700115)をご使用ください。
- (9) ウー トップ トリオUV 2SKを施工した後は、必ず8週間以内に外装材の施工を完了してください。
- (10) ウー トップ トリオUV2SK破損箇所の補修には、同製品の端材とユラソールテープ及びユラソールMAXテープをご使用下さい。
- (11) 直射日光の当たる場所に放置しないでください。
- (12) 火や高熱物を近づけないでください。

一般部の施工



外壁部の通気施工

胴縁は通気が阻害されないように配置してください。

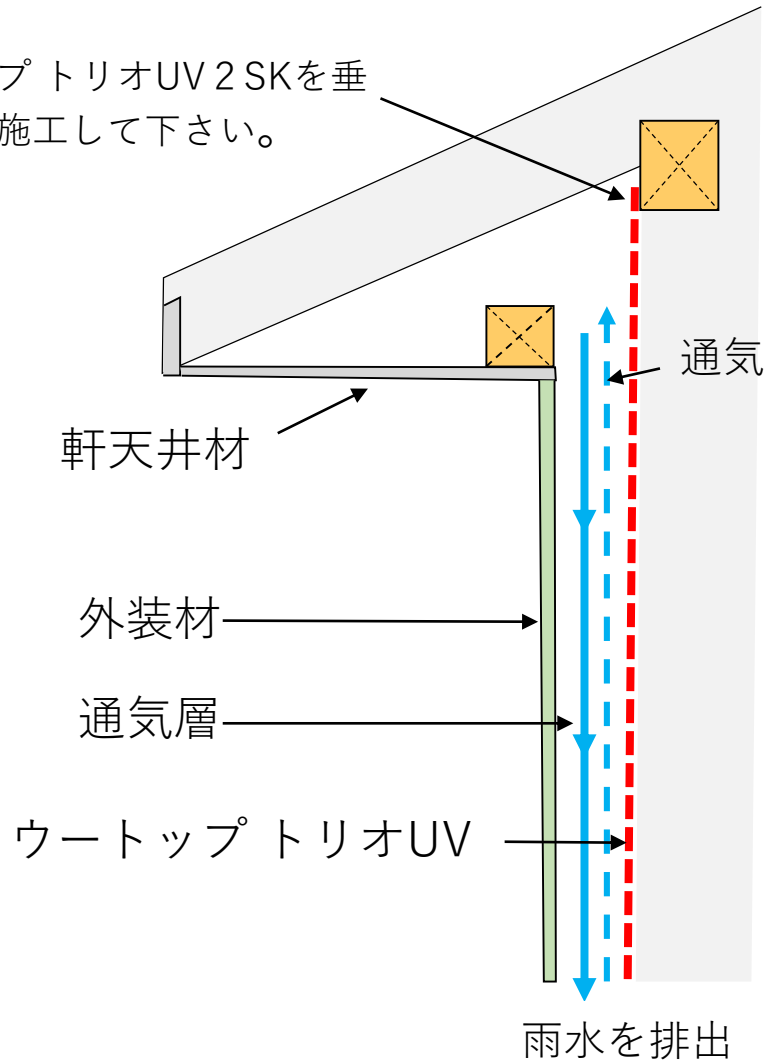


補強胴縁を含む開口部廻りや胴縁全体の割り付けは、サイディングの納まりを考慮しながら、空気が下部から入って上部から排出する通気経路と、壁体内に入り込んだ雨水や結露水を排出する経路を確保してください。

開口部廻りに通気経路がないとカビが生えたり、腐れを引き起こす原因になり
また、同時に排水経路を確保しないと、漏水のリスクが高まります。

軒天部のシート施工

ウー トップ トリオ UV 2 SK を垂木下まで施工して下さい。



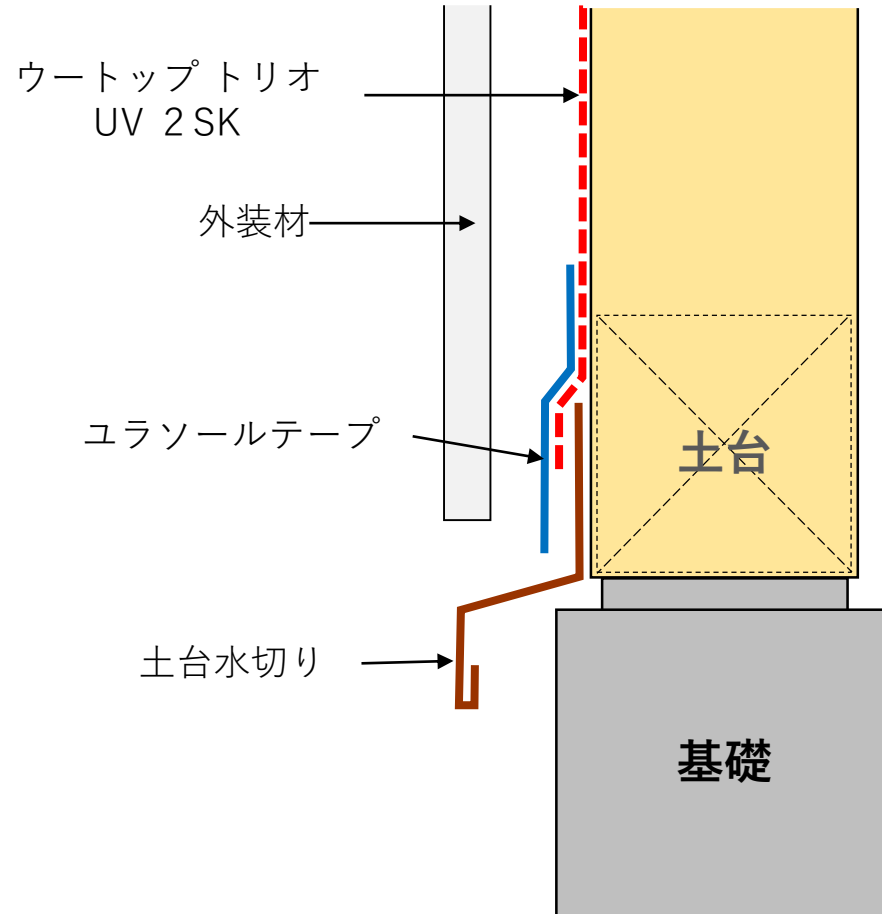
軒天井と外壁との取り合い部は、風雨の吹き上げ等により雨水が浸入する弱点となることがある。

そのため、透湿・防水シートを軒天井より上部へ張り伸ばし、雨水の浸入を防がなくてはならない。

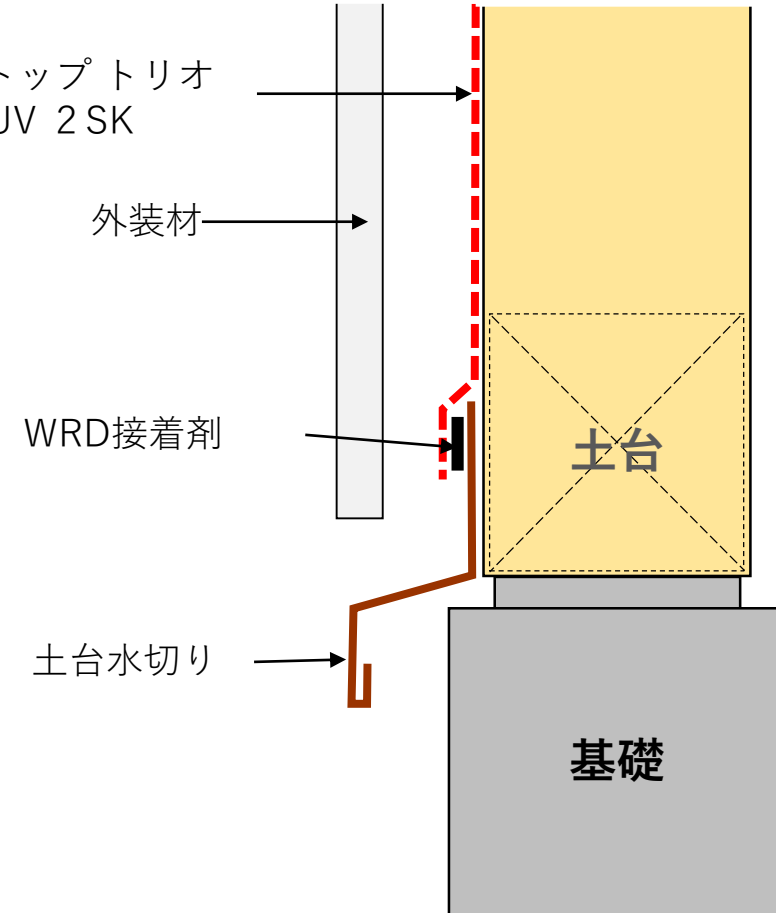
また、軒天下地となる野縁により通気が止まると、通気層構法の意味を果たさなくなるので注意が必要である。

土台水切り部の施工

施工法 1



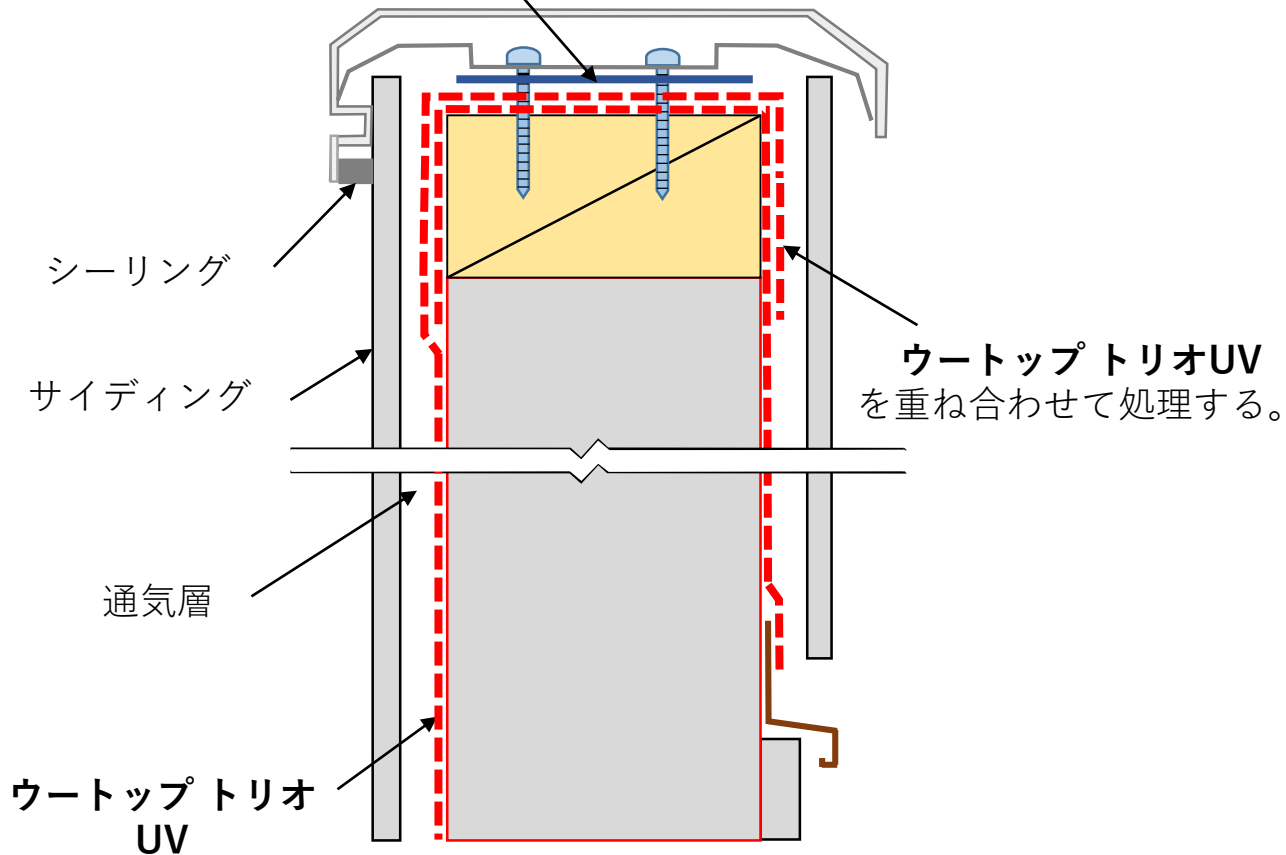
施工法 2



ウーテップシートと土台水切りは、ユラソールテープ若しくはWRD接着剤を適切に使用して施工して下さい。

バルコニー笠木部のシート施工

ビス取付け位置には
釘穴シールテープを施工する。



笠木の天端面は、ウートップトリオUVを側面
で重ね合わせて処理してください。

笠木取付け金具のビス穴からの漏水防止のため、
ビスとウートップトリオUVの間に釘穴
シールテープを貼ってください。

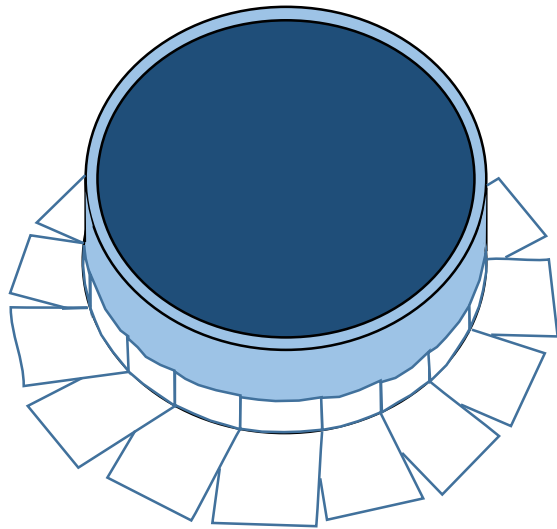


0875850145
釘穴シールテープ

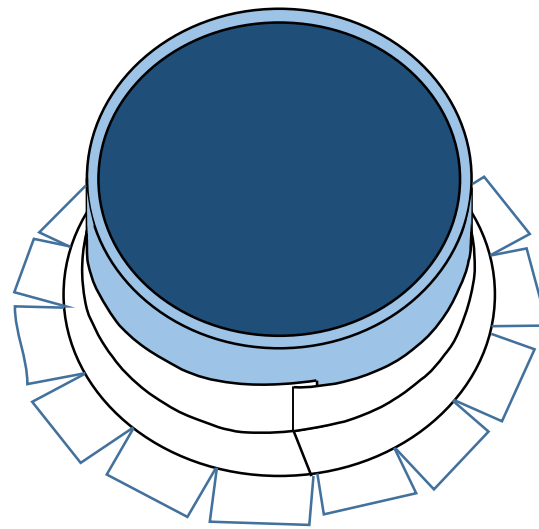
ダクト貫通部の処理

ダクトや排水管、電気配線等の貫通部は通常の防水テープでは張り重ねての施工が難しく漏水しやすい箇所です。

貫通部分の処理は剥離紙が中央で割れている、0992710060 ユラソールプラス気密防水テープ及び貫通部用スリーブ（対応サイズを選択）を推奨します。



① ダクトの貫通部周りを囲むようにユラソール気密防水テープを貼る。



② 次にユラソールプラステープを貫通部周りに回して貼り付ける。



貫通部用スリーブ